

大学期の全身症状と不眠を経て就職・スポーツ生活が可能になった成人アトピーの経過 (24 歳 男性)

症例 ID : 001-20-NK | 記録日 : 2016 年 12 月 13 日

1. 診断・治療前経過

幼少期から症状の強い時にステロイドを使用し、中学期以降はリンデロンを白色ワセリンで希釈した外用薬やロコイド、プロトピックを使用しました。

大学 3 年冬の 2015 年 1 月、就職活動を前に症状とかゆみが強くなり、治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	リンデロン、ロコイド、プロトピックなどを使用しました。
製品名	リンデロン、ロコイド、プロトピック。
強度	不明です。
使用期間	幼少期から 2015 年 1 月まで断続的に使用しました。
中止時期	2015 年 1 月の治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～中学期	長期外用	症状の強い時にステロイドを使用しました。
2015 年 1 月	治療開始	大学 3 年冬に松本医院を受診しました。
初診当日～翌日	急性変化	顔から黄色い浸出液が出て、全身に症状が広がりました。
治療初期	強いリバウンド	顔、首、関節部、太ももに発疹、つっぱり、むくみ、痛みが出ました。
約 3 週間頃	ピーク	全身のかゆみと不眠、処置時の強い痛みが続きました。
治療経過中	生活への影響	首のむくみでシャツのボタンを留めにくく、企業説明会を欠席することがありました。
その後	回復・就職	皮膚の黒ずみが軽減し、就職が決まりました。
記録時点	生活変化	スポーツを楽しみながら就労し、治療を継続していました。

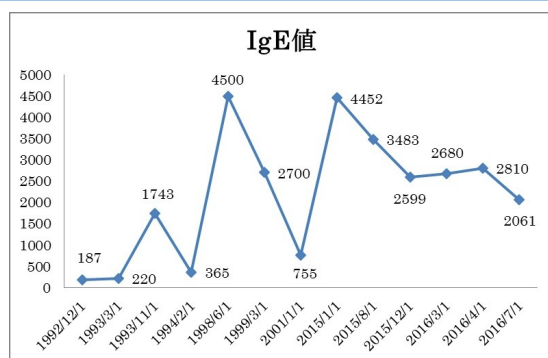
4. ピーク時期

ピークは、治療開始約 3 週間頃に全身のかゆみと不眠、顔・首の浸出症状、処置時の強い痛みが重なった時期です。

5. 困りごと

- ・夜間に何度も目を覚まし、外用処置に強い痛みがありました。
- ・首のむくみと倦怠感で就職活動の予定を断念することがありました。
- ・遠方からの通院と治療費に家族の支援が必要でした。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



経過中の画像記録。

7. 経過のまとめ

強い全身症状と不眠を経験しましたが、皮膚の黒ずみが軽減し、スポーツを以前より楽しめるようになりました。就職活動を経て勤務先が決まり、就労しながら治療を継続していました。通院を経て、皮膚症状も前向きな変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。